

特別講演

2008年10月3日(金)

特別講演-I (14:00-14:45)

「赤痢菌の腸管感染と免疫抑制戦略」

東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 細菌感染分野 笹川千尋 教授

特別講演-II (16:25-17:10)

「ヒト T細胞白血病ウイルス1型による発がん機構」

京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設 ウイルス制御研究領域 松岡雅雄 教授

特別講演-III (17:10-17:55)

「感染防御に重要な活性酸素生成型 NADPH オキシダーゼ (Nox) の調節機構」

九州大学大学院医学研究院 生化学分野 住本英樹 教授

一般演題

2008年10月3日(金)

細菌-I (12:00-13:00)

1. 網羅的な細菌叢の解析によって行った胸膜炎/膿胸の起炎菌の検討
○川波敏則^{1,2}、福田和正¹、谷口初美¹
¹産医大・医・微生物学、²同呼吸器病学
2. 16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた口腔細菌の網羅的検出についての検討
○秋山兼範^{1) 3)}、福田和正²⁾、佐野直人^{1) 3)}、永田正喜¹⁾、
菖蒲池健夫¹⁾、久木田明子¹⁾、後藤昌昭³⁾、宮本比呂志¹⁾、谷口初美²⁾
佐賀大学医学部微生物学¹⁾、産業医科大学微生物学²⁾、佐賀大学医学部歯科口腔外科³⁾
3. 侵襲・非侵襲性疾患と環境分離 *Aeromonas* 株の系統分析と表現型病原因子の分布
○立山 直¹、小椋義俊²、松岡博史³、武田展幸⁴、島田雅巳⁴、佐伯祐二⁴、
中山恵介²、大岡唯祐²、瀬戸山 充¹、林 哲也²
¹宮崎大学医学部皮膚科、²宮崎大学医学部微生物、
³宮崎大学医学部集中治療部、⁴宮崎大学医学部附属病院検査部
4. マウスマクロファージ細胞株を用いた、ヒト *NAIP* のレジオネラ感染における機能解析
○片桐菜々子、菖蒲池健夫、宮本比呂志
佐賀大・医・微生物学
5. *Listeria monocytogenes* 感染に対する獲得免疫応答にインターロイキン-17は関与しない
○塩野 健¹、浜田 聡^{1,2}、梅村正幸^{1,3}、中江 進⁴、岩倉洋一郎⁵、松崎吾朗^{1,3}
¹琉球大・分子生命科学センター・分子感染防御、琉球大・院医・²育成医学、
³感染制御工学、⁴東大・医科研・フロンティア研究拠点、⁵ヒト疾患モデル

6. *Salmonella enterica* serovar Typhimuriumの腸管感染により誘導される

腸管 T 細胞のサイトカイン発現の解析

○黛 宏和、稲垣匡子、梅村正幸、田中建照、浜田 聡、岡本祐子、松崎吾朗
琉球大・分子生命科学研究所・分子感染防御、琉球大・医院・感染制御工学

ウイルス-I (13:00-13:50)

7. 成人 T 細胞白血病におけるカペオリン-1 の発現異常

○澤田茂樹^{1,2)}、石川千恵^{1,3,4)}、丹治弘江¹⁾、富田真理子¹⁾、森 直樹¹⁾

¹⁾琉球大・院・医・病原生物学分野、²⁾琉球大・医・顎顔面口腔機能再建学分野、

³⁾琉球大・医・育成医学分野、⁴⁾日本学術振興会・特別研究員

8. 成人 T 細胞白血病における Twist の発現異常

○丹治弘江¹⁾、石川千恵^{1,2,3)}、澤田茂樹^{1,4)}、富田真理子¹⁾、森 直樹¹⁾

¹⁾琉球大・院・医・病原生物学分野、²⁾琉球大・医・育成医学分野、

³⁾日本学術振興会・特別研究員、⁴⁾琉球大・医・顎顔面口腔機能再建学分野、

9. サンゴ由来タンパク質翻訳阻害剤 hippuristanol による成人 T 細胞白血病治療の可能性

○町島由章¹⁾、石川千恵^{1,2,3)}、森 直樹¹⁾

¹⁾琉球大・院・医・病原生物学分野、²⁾琉球大・医・育成医学分野、

³⁾日本学術振興会・特別研究員

10. HIV-1 エンベロープタンパクの3量体形成と、V2 loop による抗 V3 loop 中和抗体
に対する抵抗性付与

○木村哲也¹⁾、松下修三²⁾、小糸 厚¹⁾

¹⁾熊本大学大学院医学薬学研究部 感染制御学、²⁾エイズ学研究センター 病態制御分野

11. Direct HIV-1 p24 ELISA キットの開発

○田中勇悦¹⁾、田中礼子¹⁾、山本直樹²⁾

¹⁾琉球大学医学部・免疫、²⁾国立感染症研究所・エイズ研究センター

休憩 (13:50-14:00)

特別講演-I (14:00-14:45)

細菌-II (14:45-15:25)

12. IL-17 産生 TCR $\gamma\delta$ 型 T 細胞の BCG 感染による肺肉芽腫形成への影響

○梅村正幸¹⁾、岡本祐子¹⁾、矢作綾野¹⁾、中江 進²⁾、岩倉洋一郎³⁾、松崎吾朗¹⁾

¹⁾琉球大・分生研センター・分子感染防御、

²⁾東大・医科研・フロンティア研究拠点、³⁾ヒト疾患モデル

13. ライ菌の培養と培養に伴って検出される抗酸菌について

○天児和暢¹⁾、飯田健一郎¹⁾、松岡正典²⁾、吉田真一¹⁾

九大大学院医学研究院・細菌学¹⁾、国立感染症研ハンセン病研究センター²⁾

14. ライ菌培養に伴って検出される抗酸菌の遺伝学的系統解析

○飯田健一郎¹、天児和暢¹、松岡正典²、吉田真一¹
九大院・医・細菌学¹、国立感染研・ハンセン研²

15. 環境中の抗酸菌の分布調査

○福田和正、小川みどり、谷口初美
産業医大・医・微生物学

ウイルス-II (15:25-16:15)

16. EBウイルス感染によるIL-13遺伝子発現制御機構

○石川千恵^{1,2,3}、森 直樹¹
¹琉球大・院・医・病原生物学分野、²琉球大・医・育成医学分野、
³日本学術振興会・特別研究員

17. 麻疹ウイルスの極性上皮細胞からの出芽機構

○竹田 誠、岩崎正治、池亀 聡、田原舞乃、柳 雄介
九州大学大学院医学研究院ウイルス学

18. 麻疹ウイルスマトリックスタンパク質とヌクレオカプシドタンパク質間相互作用の解析

○岩崎正治¹、竹田 誠¹、中津祐一郎¹、白銀勇太¹、中村崇規²、柳 雄介¹
¹九大院・医学系学府ウイルス学、²九大院・医学研究院教育・研究支援センター

19. ヒトリンパ球移入 NOD/SCID マウス (huPBL NOD/SCID) を用いた
組換麻疹ウイルス評価系の構築

○佐藤正明¹・斎藤誠¹・田中康介¹・岩永寿真子²・岡田誠治²・甲斐知恵子³・小原恭子¹
¹熊大院・医学薬学研究部・感染症阻止学寄附講座、²熊大院・医学教育学部・エイズ学研究
センター予防開発分野、³東大・医科学研究所・実験動物研究施設

20. 出水平野に飛来するツル糞便からのマイコプラズマの分離

○佐藤 愛、岩田 啓、田原口智士¹⁾、高瀬公三
鹿児島大・獣医微生物、麻布大・獣医微生物¹⁾

休憩 (16:15-16:25)

特別講演-II, III (16:25-17:55)

懇親会 (メルパルク) (19:00-)

一般演題

2008年10月4日(土)

ウイルス-III (9:00-9:50)

21. ポストエントリー過程における HIV-1 p2 peptide の役割の解析
○角 真太郎¹、井上大奨¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾^{1*}
¹熊大院・医薬・薬学生化学、²熊本保健科学大学
22. 経口 HIV ワクチン開発のための SIVmac239 gp140 の大量調製とワクチン調製
○野崎清輝¹、浦田悟充¹、高橋義博¹、増山光明¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾¹
¹熊大院・医薬・薬学生化学、²熊本保健科学大学
23. HIV-1 産生に関与する *N*-myristoyltransferase isozyme の細胞内局在に関する検討
○黒江徹也¹、棚田訓彰¹、郷田佳代子¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾¹
¹熊大院・医薬・薬学生化学、²熊本保健科学大学
24. HIV プロテオミクスによる HIV-1 脱殻過程の解析
○井上睦美¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾¹
¹熊大院・医薬・薬学生化学、²熊本保健科学大学
25. HIV-1 に誘導される CXCR4 を介したヒト乳癌細胞のアポトーシス
○三根 明¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾¹
¹熊大院・医薬・薬学生化学、²熊本保健科学大学

細菌-Ⅲ (9:50-10:40)

26. サルモネラ感染病態における 8-ニトログアノシン 3',5'-環状 1 リン酸を介した NO 誘導性生体防御機構
○藤井重元、Md. H. Zaki、岡本竜哉、澤 智裕、赤池孝章
熊本大学大学院医学薬学研究部微生物学分野
27. ヘリコバクター・ピロリ菌 LPS 処理マウス正常胃粘膜細胞における 乳酸菌由来リポテイコ酸の作用
○吉武 淳¹、加藤勝章²、森田英利³、西園 晃¹
¹大分大学医学部微生物学、²宮城県対がん協会がん検診センター、
³麻布大学獣医学部食品化学研究室
28. *Helicobacter pylori* 感染胃粘膜における CCL20, CXCL13 発現の検討
○中島悠次郎¹、磯本 一¹、久恒順三²、中山真彰²、河野 茂¹、平山壽哉²
¹長崎大学医学部歯学部附属病院 第二内科
²長崎大学熱帯医学研究所 病原細菌
29. *Helicobacter cinaedi* 主要抗原組換え蛋白質の作成とその血清診断への応用
○Shahzada Khan¹、岩下博文¹、岡本竜哉¹、藤井重元¹、澤 智裕¹、
正木孝幸²、河村好章³、赤池孝章¹
¹熊大院・医薬・微生物学、²化血研臨床研究センター、³愛知学院大・薬・微生物学
30. 緑膿菌の新規プロテアーゼによるプロテアーゼ活性化受容体の活性化
○木田 豊、清水 隆、桑野剛一

ウイルス-IV (10:40-11:40)

31. インフルエンザウイルスマトリックス蛋白質 (M1) 結合宿主因子、Hsc70 の M1 との結合領域の検討
○野田彩衣子¹、渡辺 健¹、塚原富士子²、丸 義朗²、小林信之^{1,3}
¹長崎大院・医歯薬 ²東京女子医大・医 ³(株)AVSS・中央研
32. インフルエンザウイルスゲノム核外輸送における NS2 タンパク質の機能解明
○清水哲平¹、滝沢直己^{1,2}、小林信之^{1,3}
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科¹、長崎大学 熱帯医学研究所²、
(株)AVSS 中央研究センター³
33. HIV-Gag 挿入組換えインフルエンザウイルスの細胞性免疫誘導能の評価
○森田繭子¹⁾、滝沢直己^{1,2)}、小林信之^{1,3)}
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科¹、長崎大学 熱帯医学研究所²、
(株)AVSS 中央研究センター³
34. インフルエンザウイルス肺炎における 8-ニトロ-cGMP の生成と、酸化ストレス応答の分子メカニズム
○岡本竜哉、澤 智裕、藤井重元、赤池孝章
熊本大学大学院医学薬学研究部 微生物学分野
35. 狂犬病ウイルス感染成立における樹状細胞の役割とワクチン効果
○塩田星児、後藤和代、西園 晃
大分大学医学部微生物学
36. プリオン病における tacrolimus の治療効果
○中垣岳大¹⁾、佐藤克也²⁾、新 竜一郎¹⁾、石橋大輔¹⁾、山口尚宏¹⁾、布施隆行¹⁾、松原岳大¹⁾、
祖母井香織¹⁾、須藤結香¹⁾、松尾敦子¹⁾、工藤真理¹⁾、上園保仁¹⁾、片峰 茂¹⁾、西田教行¹⁾
¹⁾長崎大学医歯薬学総合研究科感染分子解析学
²⁾長崎大学医歯薬学総合研究科展開医療科学講座神経病態制御内科学

休憩 (11:40-11:50)

細菌-IV (11:50-12:40)

37. *Porphyromonas gingivalis* の conjugative transposon CTnPg1 による遺伝子形質の伝達
○内藤真理子、佐藤啓子、雪竹英治、庄子幹郎、中山浩次
長崎大 院 医歯薬 口腔病原微生物学
38. 西ケニアで流行した O1 コレラ菌株の性状について
○一瀬休生^{1,6}、江原雅彦²、越智定幸⁴、辻孝雄⁴、Mohamed Karama³、
Carolyn Wahome¹、Angela Makumi¹、Guyo Huka Sora^{1,5}、Soti David⁷、Njeri Wamae⁵

¹⁾ Kenya Research Station, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nairobi, Kenya, ²⁾ 長崎大・熱研・細菌, ³⁾ Center for Public Health Research, Kenya Medical Research Institute, Nairobi, Kenya, ⁴⁾ 藤田保健衛生大・微生物, ⁵⁾ Center for Microbiology Research, Kenya Medical Research Institute, Nairobi, Kenya, ⁶⁾ 長崎大・熱研・生態疫学, ⁷⁾ Ministry of Health, Suba district, Kenya

39. 2007-2008年にベトナムで分離されたコレラ菌の性状について

○江原雅彦¹、岩見 守¹、Nguyen Dong Tu^{1,2}、一瀬休生^{3,4}

¹長崎大・熱研・細菌学、²NIHE・ハノイ・細菌学、³長崎大・熱研・生態疫学、⁴熱研ケニア研究拠点 (ナイロビ)

40. 腸管出血性大腸菌 O157 および non O157 が保有する Stx2 フェージ (EDL933W、Lc159) 保有率と Stx2 産生性の比較

○真子俊博

福岡市保健環境研究所 保健科学

41. 大腸菌における HSP60 のペリプラズムまたは菌体表層局在について

○又吉盛健、吉家清貴、小田 紘

鹿児島大学・医歯学総合研究科・微生物学

ウイルス-V (12:40-13:30)

42. DHCR24 (24-dehydrocholesterol reductase) を介した HCV の p53 活性抑制

○西村知裕^{*1,2}、笠間由里^{*1}、齊藤 誠^{*1}、小原道法^{*3}、小原恭子^{*1}

^{*1}:熊大院・医薬・感染症阻止学, ^{*2}: (財) 化学及血清療法研究所, ^{*3}: 東京都臨床研

43. C型肝炎ウイルスによる腫瘍原性関連分子 DHCR24 の転写制御機構の解析

○齊藤 誠、小原恭子

熊本大学大学院医学薬学研究部 感染症阻止学寄附講座

44. HIV-1 感染後 CD4+ T 細胞上の CCR5 は down-modulation されない

○遊佐敬介、門出和精、前田洋助、原田信志

熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学分野

45. アカゲザル CCR5 細胞外ループ由来環状ミモトープを用いた特異的抗体の誘導とワクチンへの応用

○松本浩和¹、衛藤あゆみ¹、高橋義博¹、増山光明¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾^{1*}

¹熊大院・医薬・薬学生化学, ²熊本保健科学大学

46. HIV-1 ゲノム産物の翻訳後修飾解析システムの構築—Nef 翻訳後修飾の非破壊的プロファイリング—

○入坂由香梨¹、高宗暢暁¹、庄司省三^{1,2}、三隅将吾^{1*}

¹熊大院・医薬・薬学生化学, ²熊本保健科学大学